

<p>厚生労働省和歌山労働局 発表</p> <p>平成24年4月27日</p>	<p>厚生労働省和歌山労働局 労働基準部健康安全課</p> <p>担当 健康安全課長 田中 英夫 健康安全課長補佐 福田 真二</p> <p>TEL 073-488-1151 FAX 073-475-0113</p>
---	--

## 平成23年の労働災害発生状況（確定）

—死傷者数は2年連続して増加—

### 1 死傷災害の発生状況

平成23年の労働災害による休業4日以上<sup>1</sup>の死傷者数は、1,241人で、平成22年の1,217人に比べて、24人増加した。（+2.0%）

（1）業種別では、製造業が332人と最も多く、次いで建設業174人、商業135人であった。

平成22年と比較すると製造業24人増（+7.8%）、建設業18人減（-9.4%）、商業12人増（+9.8%）であった。

（2）事故の型別では、「墜落・転落」が238人、「転倒」が217人、「はさまれ・巻き込まれ」153人、「動作の反動・無理な動作」135人の順であった。

### 2 死亡災害の発生状況

平成23年の労働災害による死亡者数は11人で、過去最少であった平成22年より2人増加した。

（1）業種別では、建設業が5人、製造業が3人、運輸交通業、林業、接客娯楽業が各1人であった。

平成22年と比較すると建設業が3人増、製造業が2人増となった。

(2) 事故の型別では、「墜落・転落」が4人と最も多く、次いで「交通事故」が2人、「おぼれ」が2人、「はさまれ、巻き込まれ」、「飛来・落下」、「その他」が各1人であった。

### 3 重大災害発生状況

平成23年の重大災害（一時に3人以上の労働者が業務上死傷又は病した災害）は0件であった。（昨年1件。）

### 4 和歌山労働局の取り組み

労働災害による死傷者数は2年連続で増加した。中でも製造業は、例年、最も死傷者数が多い業種であるが、2年連続の増加となっており、予断を許さない状況である。

また、本年度は、昨年9月の台風12号の被害に対する多数の災害復旧工事が予定されていることから、建設業において労働災害の急増が懸念される。

このため、和歌山労働局では、災害が増加している業種、特に製造業に対しては、リスクアセスメント（危険性又は有害性等の調査等）の実施を基本に機械への「はさまれ、巻き込まれ」災害の防止を中心とした指導を行うこととしている。

また、建設業に対しては、リスクアセスメントの実施や元方事業者が中心となった自主的安全衛生管理体制の確立を促すとともに、足場からの「墜落・転落」を防止するための指導を徹底することとしている。

添付資料 労働災害の推移（グラフ）

平成23年 死亡災害発生状況

平成23年 業種別署別労働災害発生状況



## 平成 23 年 死 亡 災 害 発 生 状 況 ( 確 定 )

和 歌 山 労 働 局

死亡累計	署	災 害 発 生 月	事業の種類	事業場規模	事故の型	起因物	年齢層	職種	経験区分	災 害 発 生 状 況
1	橋本	3月	飲食店	50～99人	墜落、転落	はしご等	60歳代	営繕係	10年以上 20年未満	休業中のレストランの改装作業において、壁に取り付けていたテレビ(46型、38キログラム)を取り外すため脚立の天板に乗り作業をしていたところ脚立から転落したものの。災害発生の20日後に容態が急変し死亡した。
2	橋本	5月	道路貨物運送業	1～9人	墜落、転落	はしご等	40歳代	運転者	1年以上 5年未満	配送後立ち寄ったガソリンスタンドで、自由に使用できる貸出し用の脚立を用いてトラックを洗車していたところ何らかの原因により脚立から転落し頭部を損傷死亡に至ったもの。
3	和歌山	5月	食料品製造業	1～9人	その他	その他	40歳代	製造工	1年以上 5年未満	朝6時頃、委託先の厨房へ出勤し、本社へ出勤の電話連絡を行った際に脳梗塞を発症したもの。
4	和歌山	7月	その他の建設業	1～9人	墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	40歳代	電工	5年以上 10年未満	高さ6.27mの住宅の屋根の上で、太陽光発電パネルの銘板を取り付ける作業中墜落したもの。
5	御坊	9月	窯業土石製品製造業	1～9人	おぼれ	水	60歳代	管理者	10年以上 20年未満	労働者2名が台風12号の大雨を警戒し、会社工場にとめていた生コン車を資材置き場へ移動させようとしたところ、川が氾濫し、翌日、1名が工場から約300m下流、もう1名が約5km下流で発見されたもの。
6	御坊	9月	窯業土石製品製造業	1～9人	おぼれ	水	50歳代	製造工	10年以上 20年未満	労働者2名が台風12号の大雨を警戒し、会社工場にとめていた生コン車を資材置き場へ移動させようとしたところ、川が氾濫し、翌日、1名が工場から約300m下流、もう1名が約5km下流で発見されたもの。
7	新宮	9月	その他の建設業	1～9人	墜落、転落	はしご等	40歳代	電工	10年以上 20年未満	電柱に脚立をはしごとして立てかけ、当該脚立はしご上で作業していたところ墜落したもの。
8	御坊	11月	土木工事業	10～29人	はさまれ、巻き込まれ	立木	60歳代	作業員	1年未満	電線鉄塔に近接した樹木の伐採工事において、高さ17m程のクヌギの木を伐倒するにあたり、長さ4m程の一本梯子を立てかけ、被災者1名が同梯子の上で墜落防止用の親綱を同木の幹に廻した状態で、チェーンソーを用いて同幹の上部を伐採していたところ、幹が切込途中で裂けて、親綱が引っ張られた結果、幹に腹部を強く圧迫され、大腸破裂により死亡した。
9	和歌山	12月	建築工事業	10～29人	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	30歳代	作業員	20年以上 30年未満	夜間工事を終え、午前4時頃同僚5名で社用車に乗り大阪の事務所に帰る途中、高速道路トンネル付近で左後輪が破裂したため横転し、死亡した。
10	和歌山	12月	建築工事業	10～29人	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	30歳代	作業員	1年以上 5年未満	夜間工事を終え、午前4時頃同僚5名で社用車に乗り大阪の事務所に帰る途中、高速道路トンネル付近で左後輪が破裂したため横転し、死亡した。
11	田辺	12月	林業	1～9人	飛来、落下	機械集材装置、運材索道	40歳代	林務作業員	1年以上 5年未満	木材伐出現場において、機械集材装置で資材を搬入するため、搬器のフックに繊維ロープで鉄製パイプ約160本、番線2箱及びび鹿よけネット2束をその鉄製パイプに縛り付ける方法で荷掛を行った後、地上から約2メートル巻き上げ、土場を越えた辺りまで水平移動し、地上から約33メートル荷を巻き上げた瞬間、荷が同繊維ロープから抜け落ち落下、土場で造材作業を行っていた被災者の背中にあったもの。

# 労働災害の推移

